

2024年度事業計画書

特定非営利活動法人IMAGINUS

1 事業実施の方針

2024年度実施する事業は、人材育成事業としては、各事業実施地においてインターン生受け入れを行い、国内では子どもと大人の自然体験活動を実施していく。国際協力事業としては、インドの児童保護事業を引き続き実施していくのと同時にその継続的な資金確保に注力する。フィリピンでは引き続き奨学金事業を行い、寄宿舎建設はその運営初年度として体制を整えていく。ボランティア活動事業では主に能登半島地震ボランティア活動を学生と協働で行っていく計画である。活動内容は助成金や資金確保状況によって実現可能な形に変更をしていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
人材育成事業	<u>学びの場作り</u> フィリピン文化を伝えるオンラインプログラムを実施する。	未定	オンライ ン/ フィリ ピン	1名	未定	<u>50</u>
	<u>フィリピン・インドにおけるインターンの受け入れ</u> フィリピンやインドのプロジェクトサイトでインターン生の受け入れを行う。	8~9月 2~3月	インド フィリ ピン	3名	6名程度	<u>100</u>
	<u>子どもと大人の自然体験</u> きんぎょ荘周辺の里山整備、親子への有機農業体験、イベントの実施。	通年	広島	2名	延べ50名程度	<u>100</u>
国際協力事業	<u>寄宿舎建設事業</u> 施設備品等の調達を完了させ、事業の継続的な運営体制を整える。	通年	フィリ ピン		8名	<u>5,000</u> (予定)
	<u>奨学金支給と村落開発事業</u> フィリピンネグロス島における奨学金プログラムは5年目。カカオ農家技術指導を通して収入向上とカカオ市場の活性化に取り組む。	通年	フィリ ピン	現地ス タッフ2 名 日本 人ス タッフ 1名	11名の子ども とその家族	<u>150</u>

	<u>児童保護事業</u> インド西ベンガル州ニュージャールパイグリ駅周辺の女兒を保護するためのシェルターの運営。	通年	インド	現地スタッフ 2名	施設利用者数 延べ150名	<u>800</u> <u>(予定)</u>
	<u>インドみんなの学校(SAC)</u> インド政府が打切ったNCLPスクールのうち3校を運営。	4月～	インド	現地スタッフ 2名	160人の子どもと教師8名	<u>900</u> <u>(予定)</u>
	<u>研究活動</u> インドの地域研究を実施する。	通年	インド	研究者 2名	—	<u>0</u>
ボランティア活動事業	<u>災害時ボランティア活動</u> 令和6年に発生した能登半島地震の被災地に学生ボランティア派遣。 万が一、広島県内や周辺地域で災害が発生した際には学生と協働で現地入りをする。	5月 8月	能登半島ほか	各4～6名	5月学生11名 8月学生15名 被災者多数	<u>2500</u> <u>(予定)</u>
	<u>チャリティー企画</u> 令和6年に発生した能登半島地震の写真展示や被災地物品を紹介する企画。	通年	広島県内	3名	参加者多数	10
	<u>防災啓発活動</u> 能登半島地震ボランティア活動報告会の開催。 大学等での講演会の実施。	6, 7月 10月	国内（広島）	4名	参加者延100名	0
	<u>防災プラットフォームへの参画</u> 内閣府のモデル事業である広島市東区早稲田学区での防災プラットフォームへ参画。	年4回	国内（広島）	2名	行政職員や自治会役員等20名	0
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営	通年	ネット上	1名	ホームページ	<u>上記事業費内に含まれる</u>
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>